

株式会社札幌リゾート開発公社

「安全報告書(2014)」【平成 25 年度】

札幌国際スキー場

スカイキャビン 8
スカイキャビン 6
メルヘン第 1 クワッド
ウッディー第 3 ペア
ウッディー第 4 ペア

平成 26 年 6 月 9 日

1. 利用者の皆様へ

当社スキー場の索道事業に対して、日頃のご利用とご理解をいただき誠に有難うございます。

当社は、安全の基本理念、安全方針に基づき、安全が最大のサービスを合言葉とし、法令の遵守を基に安全輸送に最大限に努めております。

2013～2014年シーズンもおかげさまで多数のお客様にご来場を頂きまして、無事終了しましたことをご報告させていただきます。

来るシーズンにつきましてもご来場いただいたお客様が安心してご利用頂けるよう、全社一丸となって輸送の安全確保に努める所存でございます。

本報告書は鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組や安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解を頂くために公表するものです。皆様からの声をさらなる輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

平成 26 年 6 月 9 日

株式会社札幌リゾート開発公社（札幌国際スキー場）

代表取締役社長 濱上 敏治

2. 輸送の安全を確保するための方針と目標

- (1) 社長及び役員は、安全第一の意識をもって事業活動を行える体制の整備に努めるとともに、索道施設及び職員を総合活用して輸送の安全を確保するための管理の方針その他事業活動に関する基本的な方針を次項に定め、安全の確保に関する業務の実施状況を踏まえ、必要に応じて見直します。
- (2) 社長、役員及び社員(社員に準じるものを含む)の安全に係る行動 規範(安全の基本理念、安全方針)は、次のとおりとします。
 - 1) 一致団結して輸送の安全確保に努めます。
 - 2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規定をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
 - 3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
 - 4) 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをします。
 - 5) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
 - 6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
 - 7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

(3) 安全目標

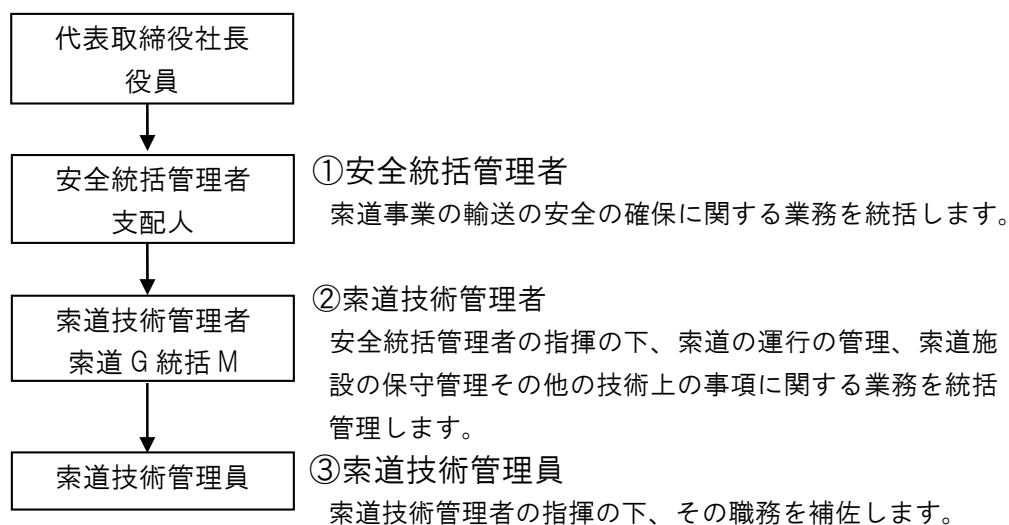
輸送の安全を確保するために安全目標を定め、お客様の安全確保はもとより従業員の安全確保にも努めております。

《2014～2015 目標》

- 1) 人身傷害事故の0達成。
- 2) 設備不具合事故の0達成。
- 3) 安全、技術に関する情報を共有し、役割を自覚する。

3. 輸送の安全の確保に関する組織体制

- (1) 社長は、輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負います。
- (2) 社長及び役員は、輸送の安全を確保するための索道事業の実施及び管理の体制を整備するとともに、索道事業の実施及び管理の方法を定めます。
- (3) 社長及び役員は、索道事業の遂行に際し、設備、運行、要員、投資、予算その他の必要な計画の策定において、必要な責任者に対し、安全性及び実現可能性な観点から検証を行わせます。
- (4) 社長及び役員は、輸送の安全を確保するため、索道事業の実施及び管理の状況を把握し、必要な改善を行います。
- (5) 社長及び役員は、輸送の安全確保に関する改善施策の決定に際しては、安全統括管理者のその職務を行う上での意見を尊重します。
- (6) 社長及び役員は、事故、事故のおそれのある事態、災害その他輸送の安全確保に支障を及ぼすおそれのある事態の規模や内容等に応じ、事故対策本部の設置や責任者、対応方法その他必要な事項を、社員等に周知し、徹底します。
- (7) 当社の索道事業における安全確保に関する体制は、下図のとおりとし、各々の責任者の役割及び権限は、次に掲げるとおりです。



4. 輸送の安全の確保に関する取組み

(1) 緊急時の対応訓練

① 応急救助訓練：10月31日実施



② 予備発電機切替訓練：11月26日実施



(2) 人材教育

- 1) 運輸局・索道協会の開催する研修会に積極的に参加しています。
- 2) 索道メーカーの実施する技術研修会に積極的に参加しています。
- 3) シーズン営業開始前に全従業員を対象にした社内研修を行っています。

(3) 安全のための投資と支出

- 1) 当社では、安全重点施策として中期の整備計画及び年度ごとの計画を作成し、それに基づき実施しております。
- 2) 今期大きな投資及び支出
 - ・スカイキャビン8 押送装置主要装置更新。
 - ・スカイキャビン8 索受装置 OH (3・5・11号柱)。
 - ・スカイキャビン6 握索機解体整備 40台。
- 3) その他の設備につきましては、計画に基づき定期的な消耗部品類等の交換及びオーバーホールを実施しました。
 - ・押送装置 V ベルト交換
 - ・押送タイヤ交換
 - ・ゴムタイヤ交換

5. 点検及び検査について

- (1) 索道運転細則に基づき毎日始業点検、試運転を実施し、安全運行に支障が無い事を確認の後営業運転を行っています。また、運行中においては索道技術管理者及び索道技術管理員による安全確認を実施しています。
- (2) 索道整備細則に基づき、始業検査・1 カ月検査・12 カ月検査・臨時検査・基準適合確認検査を実施しております。

6. 索道事故及びインシデントについて

- (1) 索道事故の発生状況
 - 普通索道 索道運転事故等の発生はありませんでした。
 - 特殊索道 索道運転事故等の発生はありませんでした。
- (2) インシデント（事故の兆候）の発生状況
 - 普通索道 インシデントの発生はありませんでした。
 - 特殊索道 インシデントの発生はありませんでした。
- (3) 行政指導について
 - 平成 25 年9月発生の労働災害事故に対して労働基準監督署から是正勧告を受ける。
 - 事故内容：線路中での作業中、作業搬器屋根部分の作業スペースから本体に移動の際誤って転落。
 - 指導事項：①高所における作業では、墜落や落下の防止処置を講じる事使用する安全帯については、フックの付替えの際の墜落を防止するためダブルフックタイプの安全帯の使用を検討してください。
 - ②高所における索道施設の整備作業について予め作業手順を作成し、労働者に教育訓練を行うこと。
 - 是正対策：安全帯をダブルフックに改善かつ移動時においても安全フックを付けておけるよう改善

7. 終わりに

来シーズンもお客様が安全・安心・快適にご利用いただけます様、設備の充実、整備、運行管理等を実施し、無事故を目指し、安全で楽しいスキー場を提供すべく全社一丸となって努力いたします。

※お客様へのお願い

スキー・スノーボードを安全に楽しんでいただくためのゲレンデルール、リフト・ゴンドラ運送約款などがございます。
ルールとマナーを守り、お楽しみください。

※この報告書についてのお問い合わせは

㈱札幌リゾート開発公社

TEL : 011-598-4511 FAX : 011-598-3356